



一般質問

第4回定例会の主な質問内容は次のとおりです。
なお質問の詳細は、熊本市議会ホームページの会議録等をご覧ください。

令和自民



落水 清弘議員

質問1

『夜景の美しい街づくり』について

前の提案で、街灯の色調をエリアやラインで決めて頂いたが、残りの防犯灯・商店街灯などの色調は、どうされるのか？

答弁

今回の欧州視察で夜間景観の美しさに感銘し、その重要性を改めて認識した。今後、防犯灯等も含む夜間景観の指針策定を進めていく。



質問2

次世代へ、不妊・不育の正しい情報提供を！フランスの少子化対策で行われている、不妊・不育などの正しい性医学情報を、パンフレットで中学生へ知らせるべき！

答弁

フランスの先進的な少子化対策を参考にパンフレットを作成し、高校等へ配布してきた。新たに中学生向けも作成、配布していく。

自民党



荒川慎太郎議員

質問1

にぎわい創出のための催事開催用地について

中心市街地のにぎわいを継続させるため、アーケードや公園施設の利活用についてどのような方針を持つのか。

答弁

公園等のルールづくりの検討も進め、オープンスペースの早期供用をはじめ、アーケード街や公園等の積極的な活用を図っていく。



質問2

自治会役員の高齢化・なり手不足等への支援

「地域主義による新しい自治のかたち」を確立するため、課題を抱える地域の各種組織を今後どう支援するのか。

答弁

企業や大学などの多様な主体が地域団体と連携し、課題を解決する仕組みをつくり、「上質な生活都市くまもと」の実現に取り組む。

市民連合



吉村 健治議員

質問1

平和教育について

現在行っていることとこれからすべきことは。また、市長の平和、平和教育のあるべき姿についての考えは。

答弁

平和な社会の実現に向け、主体的に考え、実践する力を育み、戦争の惨禍を次世代へ語り継ぎ、恒久平和の実現に取り組んでいく。



質問2

「犯罪被害者救済条例」に関して

他都市の「犯罪被害者救済条例」の制定状況と、本市の犯罪被害者支援の取り組み状況は。

答弁

条例は11政令市で制定。本市では支援の案内窓口を設置しており、関連機関等と連携しながら、条例制定の必要性も検討していく。

公明党



藤永 弘議員

質問1

ひきこもり対策に見守り支援が必要では？

見守り支援利用について対象者にアンケートを行うべき。また、本市独自で中学校卒業後の見守り支援事業の実施を。

答弁

アンケートは、実態調査の項目へ盛り込むこと等を検討したい。また、ひきこもりの実態把握に努め、状況に応じた支援につなげていく。

質問2

全国都市緑化フェア後に残るレガシーを

水前寺成趣園から江津湖への動線、道路、ベンチ等の整備及びシンボルプロムナードと一体となった夜の散歩道の整備を求める。

答弁

フェア開催に向けて、園路、ベンチ等の整備を進めていく。また、石垣や長塀の趣ある雰囲気を活かした環境整備に取り組んでいく。



無所属議員



緒方 夕佳議員

質問1

小学校のカバンが自由であることの周知

「小学校ではカバンについての決まりがなく、ランドセルでなくても良い」事を保育園等でも知らせるべき。

答弁

通学用カバンについては、入学前の1月から2月に各小学校が実施する入学説明会において周知したい。



質問2

「体罰アンケート」の結果を受けた今後の取り組み

教員の体罰・不適切指導に関する本市の全小・中学生からの訴えがまとめられたが、今後どう対応していくのか。

答弁

適正な処分等を行うとともに、アンガーマネジメント等、効果的な研修メニューを開発し、体罰の防止に取り組む。

無所属議員



北川 哉議員

質問1

超高齢化社会での地域コミュニティについて

超高齢化社会での地域コミュニティ形成に対する政策や今後の計画は。また、地域に特化したコミュニティ形成の考えは。

答弁

自治会への加入促進をはじめ、様々な地域活動を通し、今後、地域の担い手づくりのきっかけとなる取り組み事例を他地域へ広めていく。

質問2

Society 5.0^(※1) に向けての本市の取り組みは

最新テクノロジーを活用した Society 5.0構築に向けた本市の取り組みは。今後5G^(※2)総合実証実験など先進的な事例への誘致等の考えは。

答弁

Society5.0の実現を見据えた取り組みを進め、総合実証試験の誘致を検討するなど、IT環境の高度化をまちづくりに積極的に活用していく。



令和自民



田中 敦朗議員

質問1

市営墓地改革について

市営墓地事業を持続可能なものにするため、民間委託の実施、管理者が把握できるような区画貸与方法の変更を。

答弁

民間委託は、効果的な管理運営に向けて検討する。貸与方法の変更は、公平性の課題があり、市営墓地のあり方を検討する中で研究する。

質問2

「太陽光発電2019年問題」について

2009年から始まった固定価格買い取り制度が2019年から順次終了することに伴う諸問題について、市民へ積極的な周知啓発を。

答弁

消費者が契約トラブルにあわないよう、各種広報媒体を活用し啓発するとともに、蓄電池導入補助制度を周知する中で注意喚起を行う。



自民党



山本 浩之議員

質問1

全国都市緑化フェア開催のレガシーについて

本市での開催を契機に、市民生活の中で花と緑を身近に感じてもらうことが重要だが、今後の取り組みは。

答弁

緑化フェアの開催前から「気軽に花や緑に触れ合うきっかけづくり」「未来を築く人材育成」事業などに取り組む。

質問2

消防団員の処遇について

消防団員確保の観点からも、活動の実態に応じた適切な報酬等が支給されるべきだと考えるが、今後の方向性は。

答弁

近年、地域防災力の充実強化の点から国が処遇改善等と呼び掛けており、今後、国の考え方や他都市の水準等を踏まえて対応を検討する。



おしえて
ひごまる

Society 5.0^(※1) …国が提唱する未来社会のコンセプトであり、「狩猟社会」、「農耕社会」、「工業社会」、「情報社会」に続く、人類史上5番目の新しい社会。サイバー空間(コンピュータネットワーク上に構築された仮想的空間)とフィジカル(現実)空間を高度に融合させたシステムにより経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。
5G^(※2) …4Gを発展させた、超高速だけでなく、超低遅延・多数同時接続が可能な次世代の移动通信システムであり、あらゆるモノ・人などが繋がるIoT(モノのインターネット)時代のICT(情報通信技術)基盤。